



平成21年 6月24日

＜口腔がん切除後の顎骨再建-立体モデル を利用した医科歯科連携合同手術＞

＜概要＞・岡山大学病院では、2006年から、頭頸部がんや口腔がんの顎骨切除、再建症例において、形成外科木股教授の提唱により、耳鼻咽喉科腫瘍グループ(小野田 外)、形成外科(木股 外)、口腔外科(再建系)(水川 外)の3科が連携し、合同手術を行ってきました。これは、米国がんセンターで行われている頭頸部がんや口腔がんの切除、再建、咬合の専門家による理想的な集学治療であり、わが国においては、当院以外、ほとんど報告がありません。現在、CTから原寸大の顎骨モデルを作成し、術前にモデルサージェリーも行われ、手術時間の短縮も可能となりました。

＜本 文＞

- MD アンダーソンがんセンターなど米国のがんセンターでは、顎骨切除を伴う頭頸部がんや口腔がんは、切除、再建、咬合の専門家である頭頸部外科医(耳鼻科医)、形成外科医、腫瘍歯科医が、連携し手術を含め、治療を行っています。
- わが国においては、口腔がんは、耳鼻咽喉科医と口腔外科医の双方で手術治療が行われ、境界領域問題が発生し、両者の合同手術の報告は、われわれ以外ほとんど報告がありません。
- がんの切除後の審美的な面、咬合、摂食、嚥下の問題を考えると、耳鼻咽喉科、形成外科、口腔外科(歯科)の連携は極めて重要であります。
- 岡山大学病院では、2006年から、頭頸部がんや口腔がんの顎骨再建症例におきまして、耳鼻咽喉科、形成外科、口腔外科(再建系)の3科が連携し、合同手術を行ってきました。現在まで、耳鼻咽喉科、形成外科、口腔外科(再建系)の3科合同手術は12例、口腔外科(再建系)と耳鼻咽喉科又は形成外科の2科合同手術は14例で、合計26例あります。
- 現在、岡山大学病院口腔外科(再建系)では、頭頸部がんや口腔がんの顎骨再建症例においては、顎骨立体モデルを作成し、術前プレート屈曲を含めたモデルサージェリーを行っています。

＜お問い合わせ＞

岡山大学病院 口腔外科再建系

水川展吉

(電話番号) 086-235-6697

(FAX番号) 086-235-6699